

家庭・学校・地域で育む子どもたちの未来

幡多地区PTA研究大会（宿毛市大会）

令和6年11月24日（日）に宿毛市立宿毛小学校にて「幡多地区PTA研究大会」が行われました。幡多地区の6市町村から145名の参加があり、表彰行事、家庭のルールづくりチェックシートの発表、PTA活動の発表、講演が行われました。今後のPTA活動の活性化や子どもたちの健全育成につながるヒントを得ることができた研究大会となりました。

黒潮町・三原村・幡多っ子サポーターのPTA活動

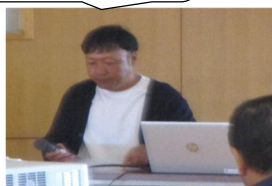
全家庭で学校、子どもをサポート！



三原小中学校 PTA の取組

- ・愛校作業
- ・地域・学校行事への支援
- ・廃品回収
- ・村内の川遊び場の環境整備、見守り
- ・通学路安全点検
- ・研究大会、研修への参加
- ・ぬまやま（発行誌）の編集
- ・地域での体験活動講師
- ・「えがお、あいさつ日本一の村」を目指しており、学校だけでなくPTAも地域を巻き込み、あいさつ運動を小中学校合同で実施

拳ノ川の未来を拓く子どもをみんなで育てる！



拳ノ川小学校 PTA の取組

- ・楮の栽培から紙すきまで卒業証書づくり
- ・地域の「そばまき踊り」の伝承
- ・読み聞かせ
- ・いもの栽培
- ・子ども会活動の支援
- ・三世代ふれあい検診の手伝い
- ・P 連スポーツ大会
- ・地域・保護者・学校が双方向のつながりをつくることで子どもの活動を活性化

誰が担当しても無理なく多くの人に貢献できる活動を！



幡多っ子サポーターの取組

- ・自市町村の給食献立表と他市町村の給食献立表を量販店等、人が集まる場所に掲示する
- ・幡多地域の子どもたちが毎日食べる給食をきっかけに家庭で「食」について考えて欲しいという思いから始まった活動
- ・献立表から家庭に新しいメニューが加わったなどの声が聞こえてきます

講演 「今の子どもたちと向き合う ～SNSを通じて～」

高知県警察本部少年サポートセンターの佐々木 美紀氏を招聘し、インターネットや SNS が身近にある現代の子どもたちを支え、大切に育てていくために、大人がどのように子どもたちを取り巻く環境を理解し、向き合っていくかをお話していただきました。スマートフォン（以下スマホ）の所持率が小学4～6年生で52%、中学生で87%となった今、子どもたちは目に見える世界だけの危険ではなく、ネットの世界でも危険にさらされています。スマホを便利な道具として子どもに渡すだけでなく、各家庭でルールを決め、スマホを使用しない時間を作ることは、我が子だけでなく友人たちを含めて、心と体を守るために必要なことであるとのことでした。また親子で何のためにスマホを使うのか、スマホを使うことで人を傷つける可能性があること、何か困ったことがあったときにはどうするのか、などの話し合いを定期的に行うことは、被害者だけでなく加害者になるリスクを減らすために必要なことであるとの説明がありました。

成長段階である子どもたちが、スマホという便利なツールを使い、SNSなどで自分を発信したり、知らない人とつながったりする背景には、寂しさや自分への自信のなさ、居場所のない孤独感など、それぞれの子どもが持つ思いがあります。もちろんマイナスな思いだけではないですが、しんどさを抱える子どもが、つながることでしんどさを軽減させていることから、依存度も強まっていくそうです。周りの大人が、子どもに寄り添い、支え、子ども自身が自分を大切に思えるように、心を育てていくことがいかに大切かを勉強させていただき講演となりました。

『23日は読書の日♪♪』

4月23日は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」で、「子ども読書の日」と定められています。この日にちなんで、毎月23日には、家庭で子どもといっしょに本を読む時間をつくってみませんか。



中学生におすすめの本

「かぞえきれない星の、その次の星」
「ドキュメント」
「春恋 君とわたしの7日間」
「透明なルール」
「結界師の一輪筆」
「トイレで読む、トイレのためのトイレ小説」
「ないものねだりの君に光の花束を」
「ヨメルバ」より引用

